



もいおかYMCA ニュース



手作り

バレンタインチョコレート教室

2月11日(祝)YMCAで手作りチョコレート教室が開かれました。伊藤先生を講師に7名の参加者がありました。板チョコをきざみ、生クリームを加えて溶かします。それに砕いたピーナッツをいれて混ぜて、ハートの型に流し入れれます。

冷蔵庫で15分ほど冷やして固まった本体に今度はコーティング用のチョコレートで表面を仕上げて出来上がり。かわいらしいラッピングを施したチョコレートは、世界に1しかない心のこもった贈り物です。

出来上がったチョコレートはどうやらお父さん、おじいちゃんへのプレゼントになるようです。



先生に教わりながら出来上がったチョコレートを箱にしまっ、いよいよ最後の仕上げ、ラッピング。



お母さんのための
フラワーアレンジメント
春のおとずれ

2月24日(木)10:00~12:00

費用:2700円

場所:盛岡YMCA

フットサル大会。念願の初勝利！

2月11日(祝)に青山にある県営体育館で行われた、盛岡ゼブラ主催のフットサル大会にYMCAサッカー教室の選抜チームである、

ベスト・キッズが参加してきました。対象は5年生以下。来年度に向けて新しいチームでの初めての大会でした。

予選リーグは、羽場飯岡と山岸と対戦。羽場飯岡には1-1の引き分け。山岸には0-2で敗れはしたものの、4年生を全員先発出場させたの成績である。初めての出場にも臆することなく、堂々と戦う姿にリーダー達も興奮して応援にも力がいはい。羽場飯岡との4位決定

リーグ出場をかけたPK戦は、白熱した展開。3人制なのだが、斉藤大輝くんの活躍で9人までもつれたが、惜しくも負けてしまった。

しかし、この悔しさをバネに雫石に4-1、松園に2-1と勝利し、総合7位の成績を修めた。実は、フットサル大会においてベスト・キッズは結成以来一度も勝ったことが無かったのである。悲願と念願の初勝利に子供達の喜びようはけた違いである。

これからも6年生が残してくれた精神的なまとも(今回の大会で子供達同士で熱心に、積極的な反省会が行われたことなど。)自由で楽しいサッカーを目指し、より良い雰囲気を作っていく。(吉田 隆二)

地の塩

「空気遠近法」という絵画の技法がある。遠くにいけば行くほど、ホワイトなどをまぜぼんやり、淡く表現して、距離感を出す技法だ。遠くにいけば行くほど人間の目には対象がぼんやりと写ることを利用している。

時の流れも同じで遠く、未来になればなるほど当事者にとっては、ぼんやりとつかみどころがなくなってくる。

いま、書店に行くとき「こころの健康」「癒し」そういった類の本がとどこ狭しとならんでいる。環境問題、高齢化、リストラ、子供の受験、就職などぼんやりとしかわからない自分の将来に多くの人が不安を覚えている証拠だ。

実はこの手の本で長年ベストセラーを続けている本がある。D.カーネギーの「道は開ける」だ。今から約90年前ニューヨークのYMCAで行われた夜間講座で語られた内容をまとめたものだ。

その中でカーネギーはこう語っている。「今日、1日の区切りで生きよ」ぼんやりとしかわからない未来に縛られて不安に過ごすよりも目の前の1日に集中せよということだ。

2000年前にもイエス・キリストが同じことを言っている。「あすのこと思い煩うな。あすのことは、あす自身が思い煩うであろう。1日の苦勞は、その日一日だけで十分である。」

いつの時代も人は、ぼんやりとしか、わからない将来の不安にさらされてかけがえのない「今」をないがしろにしてしまうようだ。

生きていく上でいろいろ不安はついて回るがとりあえず目の前の一日を素敵で美しい一日に仕上げていきたいものだ。

